

# 神山町で発生したスダチ黄化葉の発生原因と対策

## -マンガン欠乏と土壌pHの適正化-

### 背景と課題

スダチの主産地である神山町において、夏期にスダチの春～夏葉に葉脈を残し、葉肉が黄化する症状（ろっ骨症状）が発生するほ場が増加しています。このことが、近年の収量減少や、冷蔵スダチの貯蔵性低下の一因となっていると考えられます。ろっ骨症状の原因は、微量元素欠乏と考えられていますが、近年、神山町内で増加している症状の原因は不明でした。そこで、黄化症状の発生原因を明らかにし、その対策について検討しました。

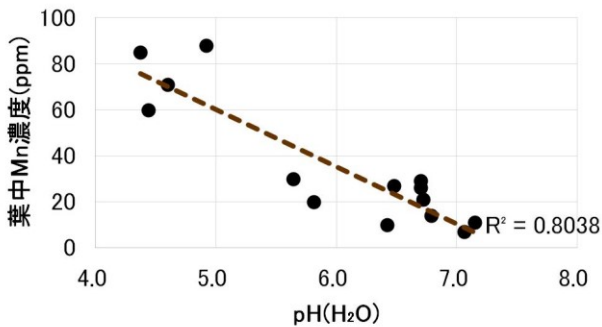
### 研究の内容 および成果

#### 【黄化症状の原因調査】

- 1.スダチ葉の分析結果から、黄化症状の発生原因は、亜鉛またはマンガン、あるいは両要素の欠乏症状である可能性が示唆されました。
- 2.マンガン葉面散布すると緑色の回復が見られ、スダチ葉黄化症状の発生原因は、マンガン欠乏によることが明らかになりました。



スダチ葉の黄化症状



土壌pHと葉中マンガン濃度の関係



葉面散布による葉の緑色回復効果

- 3.神山町内スダチ園地の土壌pHと葉中マンガン濃度は、負の相関が高く、マンガン欠乏症状の原因は、土壌中のマンガンが少ない場合と、土壌の高pHによるマンガンの不溶化による場合とがあることが明らかになりました。

### 生産者の みなさまへ

神山町で発生しているスダチ葉黄化症状の原因はマンガン欠乏であり、応急処置として、硫酸マンガンの葉面散布が有効であることが明らかになりました。根本的な対策として、土壌診断結果を活用した土壌pHの適正化が必要です。